

非稼働病棟の現状と今後の予定について  
(令和3年県独自調査結果)

資料2-2

医療圏	医療機関名	病棟名	病床数	非稼働開始時期	予定	再開時の機能	具体的な時期	非稼働理由	解消に向けた取組	備考
知多半島	公立西知多総合病院	7階東	45	2015年5月	再開予定	急性期		医師等医療スタッフの確保が困難であり、また、コロナの状況で病床の運用が未定のため。	当院は、2015年5月開院時の稼働病床378床から始まり、医療従事者の獲得の努力により、2018年4月に現在の稼働病床423床の運用となった。 医師職については、大学医局からの派遣が主であるため、定期的な医局訪問により、関係構築に努めている。また、上記だけに頼らず、人材斡旋業者の利用を行い、2020年度及び2021年度に、それぞれ1名ずつの新規採用に繋がった。 看護職については、西知多看護専門学校からの人材確保のほか、周辺の教育機関への学校訪問や、奨学金制度を設けるなど、西知多看護専門学校以外からの人材確保にも取り組んでいるところである。さらに、看護補助員については、直接募集に加え、2020年度より人材派遣会社との契約を締結し、10名の看護補助員を確保した。 これらの活動による採用実績として、2018年4月1日時点と2021年4月1日時点での常勤職員数を比較すると、医師9名、看護補助員を含む看護職員20名増加しており、全職員数では31名増加となっている。 以上のように、必要な医療従事者の確保に努めているところであるが、特に医師職については大学医局の人事異動に大きく左右されることから、充足の時期については現時点で未定である。今後も引き続き、積極的な医療従事者の確保に取り組み、非稼働病床の再開に向けた準備を行っていく考えである。	
		小嶋病院	本館2階病棟	60	2017年1月	再開予定	回復期	2025年	建物老朽化による為	建物の建替えによる。 建替えを東海市立地適正化計画に沿う形で進めており、担当部局と協議進行しています。
		本館3階病棟	60	2017年1月	再開予定	慢性期	2025年	建物老朽化による為	建物の建替えによる。 建替えを東海市立地適正化計画に沿う形で進めており、担当部局と協議進行しています。	
	国立長寿医療研究センター	南4病棟	62	2004年3月	再開予定	回復期		2004年3月の国立療養所中部病院から国立長寿医療センターへの移行時に、厚生労働省の指導に基づき非稼働病床とした。	愛知県が、2017年9月に策定した「あいちオレンジタウン構想」において、当センターの機能強化を図るため新病棟整備を進めることとされた。 新病棟では、病棟を再編し、入院中に自立を促し、在宅への移行につなげる機能の強化のほか、フレイル、サルコペニア、ロコモに関する包括的診療の取り組みこととしている。	
		南3病棟	20	2018年10月	再開予定	回復期		政策医療病棟(在宅支援病棟)として運用していたが、2018年10月、オレンジプラン構想により病棟建替計画が策定されたことも踏まえ、既存病棟にその機能を引き継ぎ非稼働病床とした。	愛知県が、2017年9月に策定した「あいちオレンジタウン構想」において、当センターの機能強化を図るため新病棟整備を進めることとされた。 新病棟では、病棟を再編し、入院中に自立を促し、在宅への移行につなげる機能の強化のほか、フレイル、サルコペニア、ロコモに関する包括的診療の取り組みこととしている。	

※診療所分  
(保健所にて把握)

医療圏	医療機関名	病棟名	病床数	非稼働開始時期	予定	再開時の機能	具体的な時期	非稼働理由	解消に向けた取組	備考
知多半島	茶谷産婦人科	—	19	2010年	廃止予定	—	—	医師の体調不良のため	廃止する旨の申出があり、近日中に届け出ることとしています。	